

事務事業名		碓石海岸レストハウス機能強化事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登載事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登載事業																										
政策体系	政策名	011 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目																										
	施策名	015 豊かな地域資源を活用した観光の振興				会計	款	項	目	事業																						
	基本事業名	011 観光客の誘致と観光宣伝の充実				01	07	01	04	02																						
根拠法令				<input checked="" type="checkbox"/> 単年度のみ		事務事業区分																										
所 属				<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～)					A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)																							
部課名		商工港湾部 観光推進室		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度		※全体計画欄の総投入量を記入																										
課長名		鈴木 弘		電話					0192-27-3111																							
係名				内線					113																							
担当者		金野道程																														
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)				全体計画(※期間限定複数年度のみ)																												
碓石レストハウスは、昭和48年に建設され、平成17年に市が(一社)大船渡市観光物産協会に無償貸付し、名称を碓石海岸レストハウスに変更して、協会から民間事業者が施設を借りて運営している。 同施設は、これまで、当市の代表的な景勝地である碓石海岸の観光面における拠点施設として重要な役割を果たしてきたが、通過型観光から滞在型観光への転換を図るため、集客や情報発信の拠点としての同施設の機能強化や大船渡市グリーンツーリズム推進協議会等との連携による体験プログラムや特産品等の開発について、国の地方創生拠点整備交付金の活用により実施することとした。 平成29年2月に国の交付決定を受けて補正予算措置し、平成29年度に同施設の機能強化に係る設計・施工及び備品の整備を完了した。 事業費は、委託料、工事請負費、備品購入費として支出。				<table border="1"> <tr> <td rowspan="7">総投入量 (千円)</td> <td rowspan="2">事業内訳</td> <td>国庫支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>都道府県支出金</td> <td></td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td></td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td></td> </tr> <tr> <td>事業費計(A)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td></td> </tr> <tr> <td>正規職員従事人数</td> <td></td> </tr> <tr> <td>延べ業務時間</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費計(B)</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>トータルコスト(A)+(B)</td> <td>0</td> </tr> </table>					総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金		都道府県支出金		地方債		その他		一般財源		事業費計(A)	0	人件費		正規職員従事人数		延べ業務時間		人件費計(B)	0	トータルコスト(A)+(B)	0
総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金																														
		都道府県支出金																														
	地方債																															
	その他																															
	一般財源																															
	事業費計(A)	0																														
	人件費																															
正規職員従事人数																																
延べ業務時間																																
人件費計(B)	0																															
トータルコスト(A)+(B)	0																															

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		⑤ 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
碓石海岸レストハウスの三陸復興国立公園の景観に調和した外装、内装の様々替えや、浜の仕事体験室の整備、体験観光プログラム開発支援や体験環境整備のための備品購入等を実施。		ア	体験観光プログラム開発メニュー数
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	
平成29年度に事業完了。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		⑥ 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・大船渡市を訪れる観光客。		名称	
		単位	
		カ	大船渡市への観光入込客数
		キ	市内宿泊者数
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		⑦ 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・碓石海岸レストハウスを訪れてもらう。		名称	
・「浜の仕事体験室」を利用してもらう。		単位	
・大船渡市を訪れる観光客に大船渡市の魅力を知ってもらう。		サ	碓石海岸レストハウス来場者延べ人数
		シ	碓石海岸レストハウス売上額
		ス	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
・たくさんの観光客が大船渡市を訪れて、宿泊する。			
・魅力がPRされ、認知度が高まる。			

(2) 総事業費・指標等の推移									
		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業内訳	国庫支出金	千円			24,871			
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円			20,900			
		その他	千円						
		一般財源	千円			5,815			
	事業費計(A)		千円	0	0	51,586	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人			1			
		延べ業務時間	時間			160			
		人件費計(B)	千円	0	0	640	0	0	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	52,226	0	0	
⑤ 活動指標		ア	回			8			
⑥ 対象指標		カ	千人			707			
		キ	千人			220			
⑦ 成果指標		サ	千人			25			
		シ	千円			31,900			

事務事業ID	1678	事務事業名	碓石海岸レストハウス機能強化事業
--------	------	-------	------------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？	通過型観光から滞在型観光への転換を図るため、集客や情報発信の拠点としての同施設の機能強化や大船渡市グリーンツーリズム推進協議会等との連携による体験プログラムや特産品等の開発・提供を行うこととし、平成29年2月に国の交付決定を受けて補正予算措置し、平成29年度に繰越事業として実施した。
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？	平成29年度に、碓石海岸レストハウスの三陸復興国立公園の景観に調和した外装、内装の模様替えや、浜の仕事体験室の整備、体験観光プログラム開発支援や体験環境整備のための備品整備等を実施した。
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？	碓石海岸レストハウスから施設改修の要望があった。また、観光客の増加に向けた体験型観光の推進が求められている。

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつかないか？意図することが結果に結びついているか？
	② 公共関与の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？
	③ 対象・意図の妥当性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？
有効性 評価	④ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？
	⑤ 廃止・休止の成果への影響	<input checked="" type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 碓石海岸レストハウスを観光誘客や情報発信の拠点とした観光振興を図るうえで、大船渡ならではの体験や物産といったコンテンツの充実を図ることが必要であり、この課題解決に向けて、平成29年度に、浜の仕事体験室等の増築、テラスの改修、観光情報等の総合発信、体験観光プログラム開発支援等を実施した。今後は、浜の仕事体験室での季節毎の体験プログラムの提供や民間事業者のツアー造成との連動により、宿泊客を中心とした滞在型観光をめざし、集客の通年化を図ることが重要である。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持			×																		
	低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持 2 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	平成29年度に事業完了したが、今後は、浜の仕事体験室において、季節に応じた体験プログラムの提供や地域と連携したイベントの開催等により、集客の通年化を図り、宿泊客を中心とした滞在型観光をめざしていくことが重要である。